

大会規則および競技者注意事項

1. 本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則、ならびに本大会注意事項によって行う。
2. 競技場使用上の注意
 - (1) 参加する全出場者分の【大会参加同意書】を団体・学校受付で提出すること。
 - (2) 受付時にADカードを配布する。競技は無観客で行い、ADカードを保持しない者の入場は認めない。
ADカードは競技者・監督・コーチが首から掛け、いつでも見えるようにしていなければならない。
 - (3) 開門は、8時00分頃にC階段を解放し、ADカードを持った代表者2名のみ入場させる。その後の競技場への入退場はC階段およびF階段の2か所の外階段のみとし、必ずADカードの提示を求める。
 - (4) 会場内に立ち入る者は必ずマスクを着用すること。(競技者は、運動時はマスクを外してよいが、それ以外は常にマスクを着用すること。)
 - (5) メインスタンドおよびグランドレベルにおけるブルーシート等による場所取りを禁止する。サイドおよびバックの芝スタンドはブルーシートおよびテントの使用を認めるが、ADカード所持人数の範囲内とする。場内での過ごし方に問題がある場合は退場させることがある。
 - (6) 各団体で分散して引率を行う場合、引率者のみ会場到着後、受付にてADカードを配布することができるので、申し出ること。
3. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
 - (1) 体調の優れない者は出場を見合わせる。
 - (2) 常にソーシャルディスタンスの確保に努め、近距離での会話を避けること。
 - (3) 石けん等を用いた手洗い、手指消毒、洗顔を行うこと。
 - (4) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者（豊島区陸上競技協会）に報告すること。提出を求める場合がありますので、【体調管理チェックシート】および【行動観察票】は団体責任者が確実に回収し、競技会終了後2週間保管してください。
4. 招集方法
 - ◇ 競技者係は100mスタート後方のゲート付近に設ける。
 - ◇ 招集時間内にトラック競技はスタート地点、フィールド競技は各ピットで競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・腰ナンバー標識（トラック競技）・商標、スパイクのピンのチェックを行う。
 - ◇ リレーのオーダー用紙は第1組の招集完了時刻の1時間目までに競技者係に提出する。オーダー用紙提出後、招集開始時刻までに各コーナーへ行って確認を受ける。
 - ◇ 招集時刻は競技開始時刻を基準として次の通りである。

種 目	招 集 時 刻
トラック競技	競技開始25分前に開始し、15分前に完了する
棒 高 跳	競技開始60分前に開始し、50分前に完了する 【現地（ピット）で招集を行います】
棒高跳以外のフィールド競技	競技開始40分前に開始し、30分前に完了する

 - ◇ 上記の時刻に遅れた者は、失格とする。
5. アスリートビブス（ナンバーカード・腰ナンバー標識）
 - ◇ ナンバーカードおよび腰ナンバーは、割り当てられた番号をはっきり大きく書く。
ナンバーカードは胸・背部に確実につけること。(跳躍種目の競技者は胸または背の片方でもよい)
 - ◇ トラック競技に参加する競技者は、レーン番号の腰ナンバー標識を右腰やや後方に付ける。
リレー競技の場合は第4走者のみ付ける。
 - ◇ 感染症対策のため、アスリートビブス（ナンバーカード・腰ナンバー標識）は各自で作成する。ナンバーカードは最大20cm×24cmの白布、腰ナンバー標識は最大12cm×18cmの白布とする。

6. 競技方法

- ◇トラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順はプログラムに示した上から下(2列の場合は左の列より)で行う。空いたレーンがあっても原則的につめないで行う。
- ◇スターターのコマンドは英語で行う。各レースで不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
- ◇リレー競技とフィールド競技に同時に出場する選手は、リレー競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に連絡して、リレー競技終了後ただちに帰ること。
- ◇800mのスタートはセパレートレーンで行う。(1つのレーンに2人入ることがある)
- ◇3000mはグループスタートで行う。
- ◇セパレートレーンを使用する競技では、安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- ◇リレー競技のマーカの使用は1ヶ所とする。マーカは40cm以下のものを各チームで用意し、レース終了後に必ず自チームで撤去すること。
- ◇ハードルは次の規格で行う。

種目	ハードルの高さ	ハードル間の距離
一般・高校男子 110mH	1.067m	9.14m
中学3年男子 110mH	0.991m	9.14m
中学共通男子 110mH	0.914m	9.14m
一般・高校女子 100mH/中学1年男子 100mH	0.838m	8.50m
中学3年女子 100mH	0.762m	8.50m
中学共通女子 100mH	0.762m	8.00m

- ◇走幅跳、砲丸投の3回の試技の後、トップ8はさらに3回の試技を行う。
- ◇走高跳のバーの上げ方は現地(ピット)で審判長が決定する。男子1組、2組は別種目として実施する。
- ◇競技(練習)で使用する用器具は棒高跳のポールを除いて競技場備え付けのものに限る。
- ◇投てき用器具の重量は次の通りとする。

種目	重量	種目	重量
一般男子 砲丸投	7.260kg	中学1・2年 砲丸投	4.000kg
高校男子 砲丸投	6.000kg	一般・高校女子 砲丸投	4.000kg
中学共通男子 砲丸投	5.000kg	中学女子 砲丸投	2.720kg

7. 練習について

- (1)練習は競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。
ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すること。
- (2)競技区域内で練習する際は、ADカードを身に着けること。
- (3)周回レースが行われていない時間帯は、バックストレートを開放する。ただし3000mの競技中は、第2コーナーでのリレー練習を認める。(5レーン~8レーン)
- (4)ハードルの練習は、以下の通りとする。

種目	練習時間	使用レーン
一般・高校男子 110mH	準備完了から 9:15 まで	ホームストレート 6レーン
中学3年男子 110mH		ホームストレート 7レーン
中学共通男子 110mH		ホームストレート 8レーン
一般・高校女子 100mH/ 中学1年男子 100mH		ホームストレート 5レーン
中学3年女子 100mH		ホームストレート 4レーン
中学共通女子 100mH		ホームストレート 3レーン

8. 記録証 記録証は団体ごとに封筒にまとめて出場者全員に配布する。競技終了後に代表者1名が表彰係まで取りにくること。(正面入口を入れて右側【放送室】)

9. 競技場使用上の注意

- ◇ ADカードを常に携帯すること。携帯していない競技者、監督者、応援者及び引率者は競技場内へ入れない。
- ◇ フィールド内の芝は使用禁止となっているので入らないこと。
- ◇ スタンド最前列通路のコーティング部分、および建物内はスパイクを履いての通行を禁止する。
- ◇ 貴重品や衣類の管理は各自で行い盗難防止につとめること。
- ◇ ごみ類は必ず持ち帰ること。競技場内の整備につとめ、帰るときは必ず清掃をすること。
- ◇ 本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。

10. その他

- ◇ 申込み後の種目の変更、追加等は認めない。
- ◇ プログラムの訂正は、9時までまたは競技開始時刻の90分前までに大会本部に申し出ること。記録確定以後の訂正(記録証の訂正を含む)には、一切応じない。なお、プログラムの記載事項は申込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- ◇ 場内における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ◇ 練習で使用したリレーのスタート用マークは、その都度各チームで撤去する。
- ◇ 選手の負傷については応急処置のみを主催者で行うが、それ以後の責任は負わない。
- ◇ ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- ◇ 競技場の舗装の厚さは9mmである。
- ◇ 近年、盗撮の事例が報告されています。盗撮は犯罪です。大会役員がお声かけをする場合がありますが、あらかじめご承知おきください。
- ◇ 大会の映像・写真・記事・個人記録(氏名・所属含む)等が、大会プログラム・雑誌・インターネット等の媒体に掲載されることがあります。その掲載権、使用権は主催者に属します。
- ◇ 本競技会は、ワールドランキング記録申請を行いません。
- ◇ 競技場内の駐車及び区民農園駐車場への駐車はできません。有料駐車場をご利用ください。
- ◇ ほかに不明の点は、大会本部(総務)まで問い合わせること。